



■会社概要

会社名/株式会社 三洋製機
 業種/機械切削加工部品製造
 設立/昭和52年(1977年)7月
 代表者/代表取締役 彦野 宏和
 資本金/3,300万円
 工場規模/敷地面積 約7,500㎡
 工場面積 約4,000㎡
 認証認定/ISO9100:2016

主要製品名

- 航空機部品
- 油圧機器部品
- 産業機械部品
- 液晶製造装置部品
- 光通信装置部品
- 半導体製造装置部品
- 精密小物部品

主要取引先

- 航空機関連メーカー
- 油圧機器関連メーカー
- 半導体製造装置メーカー
- 各種産業機械メーカー

加工仕様

- JIS材、輸入材問わず、素材調達からの完成部品納入
- 素材支給の完成部品納入

※材質によっては素材調達できないものもございます。

コア技術・得意加工

- ステンレス(303、304、316、347、410、440C、630等)
- ハステロイ、インコネル718、パーマロイ、タングステン
- アルミニウム(2024、5052、6061、7075等)
- 析出硬化系ステンレス(HRC40以上:17-4PH、15-5PH等)
- コパール、300M、A286、グリークアスコロイ
- チタン(6AL-4V-2SN、2種)
- ベリリウム銅(銅関係全般)、ブロンズ
- 樹脂類(ベズベル、ナイロン、テフロン、アクリル等)
- 低合金鋼(SCM、SNCM、クロムモリブデン等)
- 鈍鉄、鋳物、鍛造品
- 丸物 最大 外径200mm×長さ250mm
- 角物 最大 厚み250mm×300mm×300mm



 株式会社 三洋製機
 Sanyo-Seiki Co., Ltd.

〒922-0565 石川県加賀市黒崎町あ19番地4

TEL.0761-75-1011 FAX.0761-75-1134 mail : sanyo-daihyou@sanyouseiki.co.jp

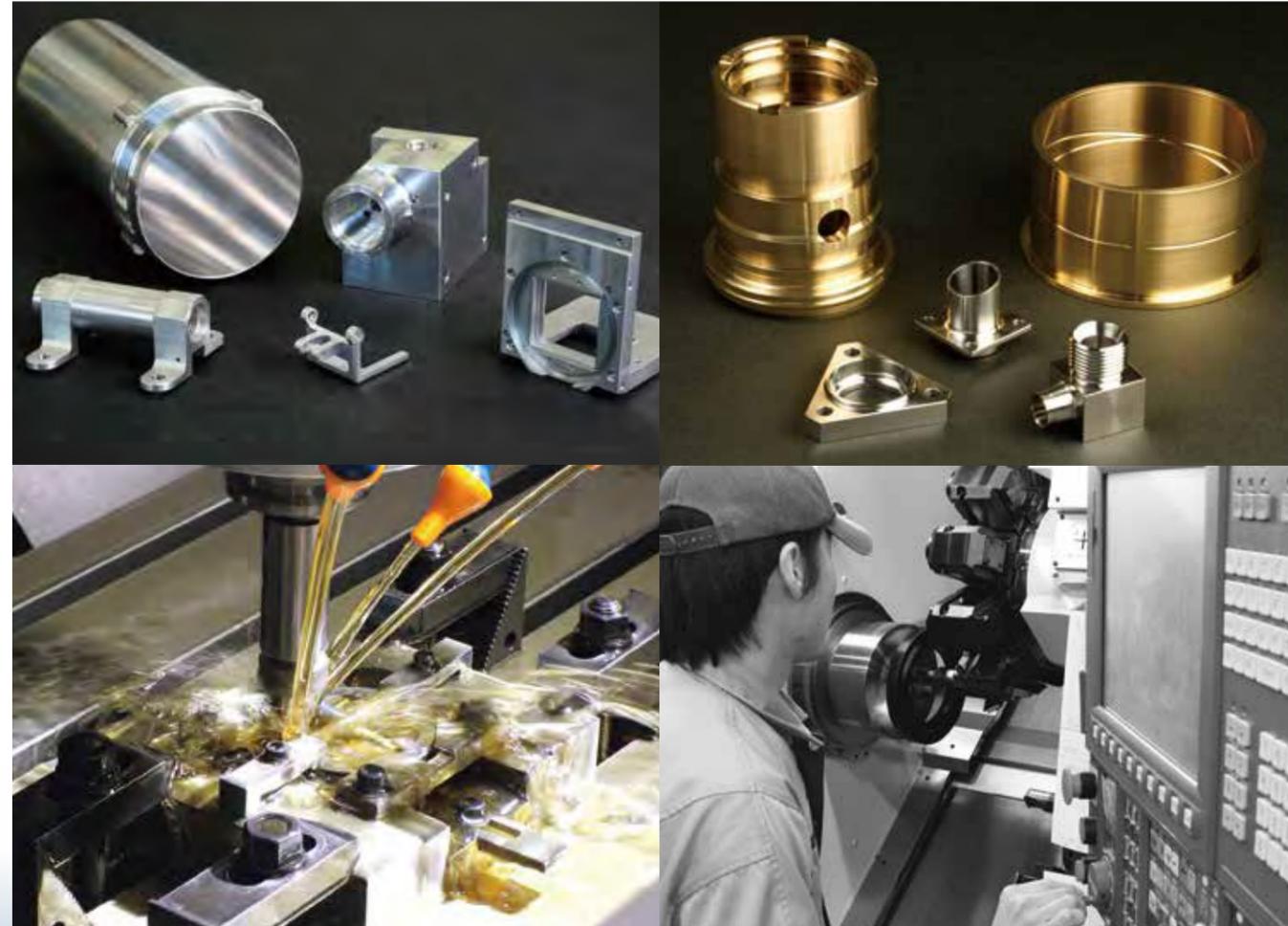
令和2年度地域企業イノベーション支援事業



安心と信頼
 挑戦と実績

多種多様の材質を加工し、試作から量産部品まで迅速に対応いたします。

複雑形状の高精度部品を得意とし、お客様の仕様に合わせた熱処理、非破壊検査、表面処理を含む、完成部品として納入します。



ステンレス系加工品

ステンレス系は当社が最も得意とする材料です。303・304・316等のオーステナイト系や、410、416のマルテンサイト系、430のフェライト系等、ほとんどのステンレスを加工しています。また、析出硬化系SUS630、17-4PH、15-5PHも熱処理を施し、HRC40～45の硬度の状態での加工も可能です。その他、チタン合成、インコネル718、パーマロイ等の材質の加工もしています。



アルミニウム合金加工品

2024系、5000系、6061系、7075系と、ほとんどの材料に対応し、精度はさることながら、外観重視の製品も多く加工しています。



ブロンズ・銅材加工品

アルミニウムブロンズと称する材質を一般的に扱っています。銅材は、ベリリウム銅合金がほとんどで、素材の状態での熱処理を施し、HRC40～45の硬度のものを加工しています。

樹脂材からの加工品

4フッ化テフロン・テフロン・ベスベル等を主に加工しています。温度差による寸法変化の管理が特に重要な材質で、材料自体も高価です。



パーマロイ加工品

パーマロイ-C(78%Ni+Fe)という材料で、荒加工後磁気焼鈍(HRC10MAX)を施し、最終仕上げ加工したものです。



表面処理加工品

アルミニウム合金を加工後、電解によって陽極皮膜を生成したもので、クロム酸アノダイズ、硫酸アノダイズ、硬質陽極処理の3つのタイプがあります。



最大のサービスは、
安心を提供すること。

品質最優先!
納期厳守!

多種多様の材質加工、小物部品は当社へ!

普通旋盤、フライス盤、円筒研削盤等の汎用機も使い製品を加工しています。バリ・カエリを顕微鏡を使用し、除去する仕上げ作業も可能です。